



映画「小川の辺」の
ロケが行われました

熱気球親子体験
搭乗会

藤沢周平氏の短編小説を原作にした映画「小川の辺(ほとり)」の撮影が9月12日に渡良瀬遊水地で行われました。

「小川の辺」は、妹の夫を討つよう藩主の命を受けた剣の達人が、肉親への愛情と藩命のはざままで苦悩するストーリーで、監督は篠原哲雄さん、主演は東山紀之さんです。

当日は、朝から渡良瀬遊水地の第2調節池で、東山さんをはじめとする出演者や50人ものスタッフによる撮影が行われました。この映画は、来年の初夏に公開予定です。

▼ロケの様子



9月26日、渡良瀬遊水地で市内の小学生と保護者を対象に熱気球の体験搭乗会を行いました。26組に応募中、抽選で10組に搭乗していただき、参加した皆さんから次のような感想をいただきました。

○ふわっと浮かび、あつという間に澄み切った秋の空へ。朝の静けさの中、ゆったりと時間が流れ、至福の一時を味わいました。葦すれすれに飛んだ時は、空を歩いているような不思議な感じが：素敵な「風まかせ」な旅？でした。

○当日は、絶好のバルーン日和で、上空からの眺めは素晴らしく、谷中湖のハート形を見るときは感動しました。また乗りたいです。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

○いつもと違う高度600mから見る谷中湖は本当にきれいなハートの形をしており、ゴルフ場もきれいに整備されていることがよく分かりました。まるで一つのアートのようで、とても素晴らしい景色でした！

○高度600mの高さを飛行していることがわかると驚きでしたが、今まで見たことのない光景に出会う事ができ、小学3年生の娘も「わあー！鳥ってこんな高い所を飛んでいるんだねえ！」と目を光らせておりました。

○高度500mの上空では、バーナーの音しか聞こえなくなり、雑音のない世界に行くことができました。乗り心地もほとんどゆれなくて最高でした。また乗りたいと思います。

○高度300m辺りまで飛んだ時は足がすくんでビデオを録れず、低い所を飛んでいる時は不安になったり：でも、慣れてくるともつと乗っていたと思うようになりました。

○谷中湖の上空では、水辺に映った私たちが搭乗した気球を見る事ができました。高さによって風の強さが違うということも勉強になりました。まるで冒険しているようでした。

◇問合せ
産業振興課

☎(62)0906



た。子どもたちとともにとても良い思い出になりました。

○僕は、母と初めて気球に乗りました。最初、体がフワッと浮いた時は緊張しましたが、慣れると気持ち良くなりました。庭先のおじさんと「おはようございます」と挨拶も交わすことができました。

○渡良瀬遊水地の広大な景色が一望でき、普段見ることのできない様な所まで見る事ができました。景色が素晴らしいのはもちろんですが、魚釣りや農作業をしている人たちが手を振ってくれ、親子共々爽やかな気分で行けることができました。

○サッカーの試合に行くときにいつも気球を見ていて「気球からの景色はどんなんだろうな」と思っていて見えました。今回気球に乗せてもらって景色がよくわかりました。珍しい体験ができて良かったです。



とちまるくん

第24回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレク「エフとちぎ」2011

とちぎ市 梅本でいっしょに出会い

平成23年11月5日(土)～8日(火)